

□ あいさつはできていますか？

あいさつをがんばる久玉小ですが、地域の方から聞く声はさまざまです。「あいさつによさに喜び」声あり、「あいさつができないなあ」という声あり、です。

つまり、あいさつができる子もいれば、できない子もいるという現状です。

社会に出て、まず、ここです。どんな仕事をやるにせよ、どんな進路を選択するにしろ、あいさつは必須です。

あいさつ運動をがんばる久玉小ですが、やはり地域であいさつができることが、ゴールです。

確認をしてみてください。そして、あいさつがどんなに大切か、語ってあげてください。



□ 時間割や翌日の準備は自分でできていますか？

目標は、忘れ物をせずに学校に行くことではありません。自分で忘れ物をしないように準備をする力をつけることが目標です。学年に応じてだと思いますが、お子さんは、自分で準備する力をつけてきていますか？

□ 友だちの家に遊びに行った時のマナーは守られていますか？

3月の学校アンケートにも、複数ご意見をいただいたこの件は、どうでしょうか？

できている？できていない？どちらでしょうか？我が子への繰り返しの指導、そして遊びに来た子への愛情たっぷりの指導をお願いします。

おまえが
いつの日か
出会う禍(わざわい)は、
おまえが
おろそかにした
ある時間の報(むく)いだ。

誰も見えない
くてもお天道様
が見ています。
やったことの報
いはいいも悪い
も自分に返って
きます。そのこ
とに気づいた人
が次のステップ
へ進めるのだと
思います。

（校長室）通信の右下に

1学期を

今週より、7月に入り、7学期もまともに入ります。いろいろなことをがんばっている久玉小の子どもたちです。できるようになったことがたくさんあります。

しかし、ひとりひとりを見つめてみると、それぞれの課題もあると思います。学年の成長段階に応じてですが、今日掲載している5つのことは、できているでしょうか？夏休みを前にまだできていないことをふりかえり、ひとつでも多くのことをできるようになって夏休みを迎えましょう。

PTA研修(5/6)の「親の学び」プログラムのまとめで次のような話をしました。「勉強は基本的に、学校で教えます。しかし、家庭でも応援して下さるととてもありがたいです。そのときは、勉強ばかりでなく、生活習慣についても考えていただくとうれしいです。「やっぱりなあ」と今日のデータも納得するものが多かったのではないかと思います。つまり、お父さんやお母さんがここまで生きてきて「正しい」と思っていることはたいがい正しいということです。自信を持って、子どもさんに人生を語ってください。人生に大切な基本的なことを教えてあげてください。人としての大切なことをしっかり教えていきましょう。」

私たちの一言一言が子どもたちを育てます。私たちの姿を見て子どもたちが育ちます。ねばり強く、家庭と学校、同じ目線でがんばっていきましょう。

また、本日(6/28)、民生委員の皆様が学校訪問があり、その会議でいただいたお話も織り交ぜて紹介したいと思います。

振り返る

□ 場に応じた言葉づかいはできていますか？

最終目標は、「社会に出ても恥ずかしくない、相手に失礼のない言葉づかいができる人間に育てる」「言葉づかいで人に誤解されたり、損をしない人間に育てる」ということだと思えます。

昨年度、児童集会での運営委員会の寸劇以来、敬語を使える子がぐっと増えました。子どもさんはどうですか？

民生委員さんとの協議の中で、来賓へ案内状を届ける児童の言葉づかいがすばらしい、という絶賛の感想をいただきました。こんな子がどんどん増えてほしいですね。



□ 決まりや約束を守って生活していますか？

自転車の乗り方、川や海、危険な遊び等、決まりを守って生活していますか？大丈夫と思っても、時々声をかけることは抑止力になります。

民生委員さんからも、「坂道からのそのまま飛び出し」「視界の悪い路地から確認もせず飛び出し」など指摘がありました。何かあってからは手遅れです。声かけをお願いします。

Bigriver's tweet~校長室より~

当たり前のことを当たり前でできる久玉っ子に②

私は小さい頃、親から「玄関の靴は並べなさい。」「使った物は元の場所に返しなさい。」とよく叱られたものです。わかっているけど面倒くさかったのでしょう。皆さんのお子様はどうですか。

さて、久玉小学校に来て驚いたことの一つに靴箱の靴があります。一人一人にスペースが広い自分だけの靴箱があります。自分の場所だから、勝手に置いてもと考えがちですが、久玉っ子は、真ん中にきちんと揃えて並べていました。学校ではよく靴箱の靴やトイレのスリッパなど履き物を揃えて置きましょうという指導を繰り返します。あの手この手を考えて取り組みますが、なかなか定着しません。簡単そうですが、難しいようです。でも、これも「できることはする。当たり前」の一つです。

「当たり前のことを当たり前にする」は、心と敏感につながっていると感じます。いつもはできているのに、今日はイライラしてできていないってことはよくあります。でも、それを許すのではなく、そんな時でも心のコントロールがうまくとれる子どもたちに育てていかなければならないと思います。気を緩めるといくらでも甘えが出てしまうのが子どもです。できることを当たり前にするとは心を育てることにもつながります。

毎日靴箱を見に行きます。靴がきちんと並んでいるのを見ると嬉しくなります。子どもたちが「今日も1日頑張ろう」と心の準備ができていることを実感するからです。でも、最近、並んでいない靴を見ることがあります。何事も継続した声かけが大切です。



Bigriver's tweet